

防災ガイド

災害時にすべきこと

災害対応編



そのとき助かるために
役立つ知識

地震発生! 行動のポイント(屋内)

- わが家・事務所**
- 机やテーブルの下に身を隠す
 - ドアを開けて逃げ道を確認
 - キッチンやベランダから離れる
 - 家具、家電、OA機器等の転倒に注意する
- エレベーター内**
- 最寄りの階で停止させて降りる
 - 閉じ込められたら、非常ボタンを押し救助を待つ
- デパート・スーパー・飲食店など**
- 陳列棚やガラスケースから離れる
 - あわてて出口に殺到しない
- 地下室・地下街**
- 落ち着いて早めに地上へ出る
 - 係員や放送などの指示に従う

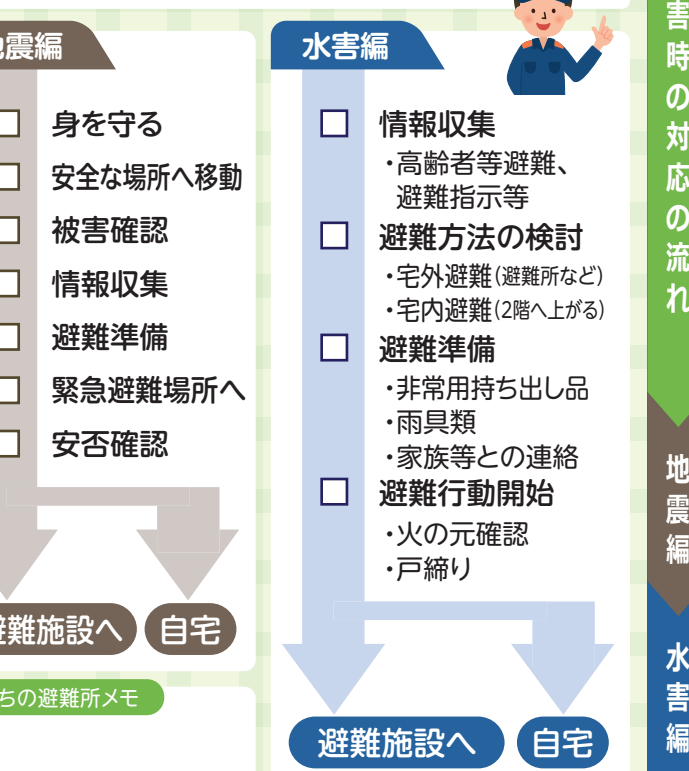
地震発生! 行動のポイント(屋内)

地震発生! 行動のポイント(屋外)

- 街中・路上**
- 看板、瓦などの落下物に気を付ける
 - 電柱、自動販売機、ブロック塀から離れる
 - ガス臭い場所や水が噴き出す場所から離れる
- 車の運転中**
- 道路の左側に車を止めエンジンを切る
 - 車から離れるときは車検証を持ち、連絡先のメモを残す。
 - キーは付けてロックはしない
- 電車・バスの中**
- つり革や手すりにつかまる
 - 勝手に車外に出ない
- 海岸・川沿い**
- すぐに水際から離れる
 - 高台か高い建物に避難する

地震発生! 行動のポイント(屋外)

災害時の対応の流れ



災害時の対応の流れ

地震発生! 帰宅が困難なとき

- 仕事や外出先で帰宅が困難になったときは…
- STEP 1 発災後の行動**
- 1 むやみに移動を開始しない
 - 2 安全を確認して安全な位置に移動
 - 3 情報収集(テレビ・ラジオ・防災メール・行政ホームページ・防災無線・SNSなど)
 - 4 行政、警察、施設管理者、交通機関等の指示に従う
 - 5 伝言ダイヤルや伝言板などで家族の安否確認
- STEP 2 帰宅開始**
- 6 交通機関の復旧、道路通行止め解除を確認
 - 7 体調や水等の持ち物を確認して帰宅を開始
 - 8 水分補給や休憩を取りながら移動
 - 9 情報収集、連絡を続ける
- STEP 3 到着後の行動**
- 10 自宅や避難所にて家族と合流
 - 11 伝言ダイヤルなどの安否情報を更新
 - 12 情報収集を続ける
 - 13 身体を休める

地震発生! 帰宅が困難なとき

応急手当の方法

いざというときのために、応急手当の方法を習得しておきましょう。

止血法

一般に体内の血液の30%(約1,500ml)を失うと生命に危険が及ぶと言われています。

応急手当をする人はできるだけ手袋やポリ袋を使用し、血液に直接触れないようにしてください(感染予防)。

骨折

折れた部分に添え木をして、上下2関節を含めて固定します。

適切な添え木がなければ、板・傘・杖などで代用しましょう。

直接圧迫止血法

清潔なタオルかガーゼを傷口にあて、その上から直接手で圧迫します。

できるだけ傷口を心臓より高くしておきましょう。

やけど

●できるだけ早く流水で冷やします。

●刺激が強い場合は、洗面器などに水を溜めて部位を冷やします。

●くつ下など衣類を着ている場合には、脱がさずその上から冷やします。

●広範囲をやけどした場合は、ホースなどで水をかけるか、シーツなどを水で浸して、やけどした部位にかけます。

長時間の冷却によって体温が低下しますので、広範囲のやけどでは10分以上の冷却は避けてください。

応急手当の方法

171 災害用伝言ダイヤルで安否確認

「災害用伝言ダイヤル171」は、地震などの災害が発生した場合に利用可能となり、伝言の登録及び再生により、被災地内の家族等との連絡を可能にするものです。

この利用方法は、まず「171」をダイヤルし、音声ガイダンスに従って伝言の登録を行います。

伝言を録音するとき

171 + 1 + 電話番号(市外局番から)

伝言を再生するとき

171 + 2 + 電話番号(市外局番から)

伝言録音時間30秒 保存期間48時間(48時間経過後に自動消去) 蓄積可能メッセージ数は10件まで

※事前の契約などは必要ありませんが、通話料が必要です。

伝言ダイヤルのしくみ

○被災地(大阪)のAさんが伝言を録音し、福岡のBさんが伝言を再生する例。

○災害により混雑する大阪~福岡間の回線を使用しません。

Aさん(被災地:大阪) 各電話機から、災害用伝言ダイヤルで自宅の電話番号をキーに、伝言を録音。例) 171+1+06+123+4567 (Aさん自宅電話番号)

Bさん(福岡) 被災者Aさん宅の電話番号をキーに、伝言を再生する。例) 171+2+06+123+4567 (Aさん自宅電話番号)

携帯電話については、各会社の災害用伝言板サービスを利用してください。

災害用伝言ダイヤルで安否確認

正確な情報入手しよう

災害時には、誤った情報や根拠のないデマが流れることがあります。これらに惑わされないように、正しい情報を入手して、落ち着いて行動しましょう。

市からの情報伝達手段

- ◆豊中市ホームページ <http://www.city.toyonaka.osaka.jp/> 災害情報などを知ることができます。
- ◆とよなか同報通信システム(防災行政無線)(市内61ヶ所に設置) 防災用スピーカーから音声で緊急情報等をお知らせします。
- ◆緊急速報メール(ドコモ、au、ソフトバンク等)
- ◆おおさか防災ネット あらかじめ登録した人を対象に、災害情報などが携帯メールに配信されます(携帯電話で受信可)。
- ◆広報車 豊中市の広報車が直接地域を巡回し、避難情報などをお知らせします。
- ◆豊中・池田ケーブルネット(コミュニティチャンネル/11チャンネル) 市と同局が必要に応じて、地域の緊急情報を放送します。

その他の情報伝達手段

- ◆テレビ、ラジオ、FM千里(83.7MHz)
- ◆大阪府ホームページ
- ◆各種ライフライン・交通機関ホームページ

実用新案登録品3221729 企画・制作 竹田印刷(株) ©竹田印刷(株)

正確な情報入手しよう

重要メモ

災害時には書くものがなくて困っていた被災者の方がいました。ここに重要な項目を書き留めておきましょう!

緊急連絡先

連絡先	電話	連絡先	電話
豊中市役所	6858-2525(代)	豊中市上下水道局	6858-2911
消防局・北消防署	6853-2345(代)	(休日・夜間)	6858-2971
南消防署	6334-3451	豊中警察署	6849-1234
新千里消防署	6872-0119	豊中南警察署	6334-1234

重要メモ